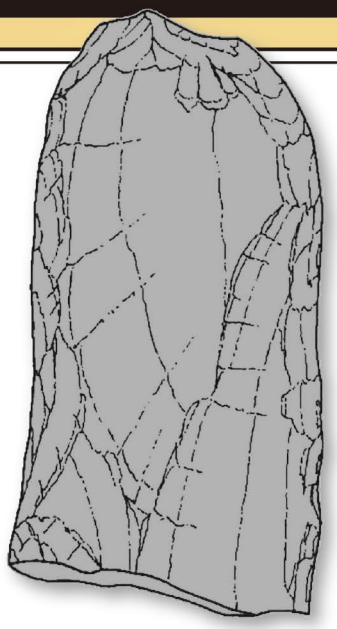
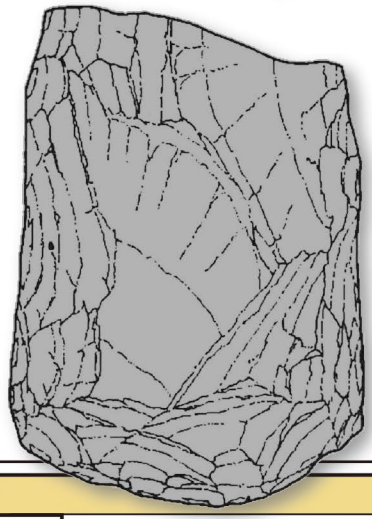
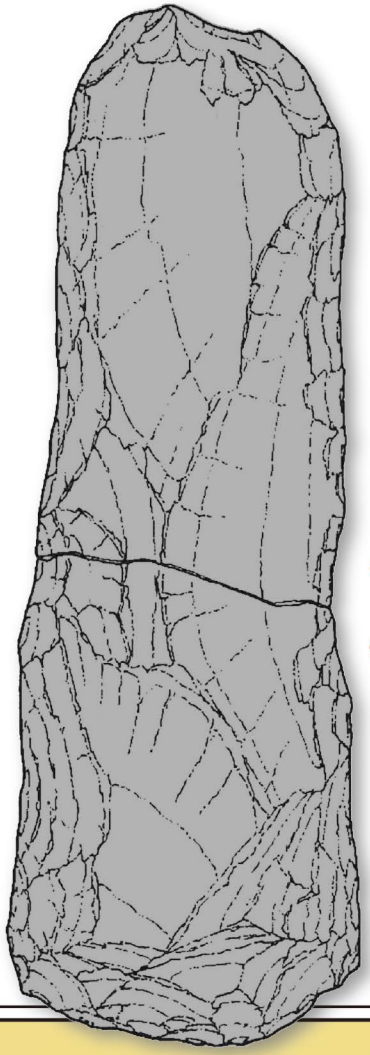
令和８年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業　公開セミナー





くっつけるとわかる

接合から探る遺跡



日時　2027年1月30日(土)　10:00-17:00（開場 9:30）

会場　中央大学　多摩キャンパス　3号館 3115 教室
東京都八王子市東中野 742-1（多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」）

参加無料
事前申込制
定員 300 名

申込方法

1. Web によるお申込
東京都埋蔵文化財センターホームページ内イベントページからお申込みください。
https://www.tomaibun.jp/event/post-259.html

2. 往復はがきによるお申込（はがき１枚につき１名様のみ受付）
以下の項目をご記入の上、下記の宛先までご郵送ください。
・往信面（裏）　行事名「三都県公開セミナー」・住所・電話番号・氏名（ふりがな）
・返信面（表）　住所・氏名
宛先 〒206-0033　東京都多摩市落合 1-14-2 東京都埋蔵文化財センター 三都県公開セミナー係

申込締切　2026年12月28日（月）
※はがきは当日必着、応募者多数の場合は抽選となります
※抽選結果は 2027 年１月４日以降にご連絡いたします

＊お預かりした個人情報は本事業実施のご案内のみに利用いたします。

申込に関するお問い合わせ先　東京都埋蔵文化財センター経営管理課　TEL 042-373-5296（平日のみ９時～17時）
内容に関するお問い合わせ先　東京都埋蔵文化財センター調査研究部　TEL 042-374-8044（平日のみ９時～17時）

主催：公益財団法人東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター
共催：公益財団法人かながわ考古学財団・公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

開催にあたって

この公開セミナーは、東京都・神奈川県・埼玉県の埋蔵文化財関係財団による連携事業として、各財団が実施した発掘調査や研究の成果を広く皆様にお伝えするとともに、財団の業務や役割にもご理解を深めていただくことを目的として、平成 20 年度から毎年持ち回りで開催しています。

今回のセミナーでは、考古学の基本的な作業である“接合”に焦点をあてます。遺跡から出土する遺物の多くは小さな破片ですが、それらが接合した時、遺物は単に元の形を取り戻すだけではなく、その背景にある人の動きもあらわにしていきます。私達が接合から古の人々をどのようによみがえらせるのか、これまで積み重ねてきた調査事例を基に発表いたします。

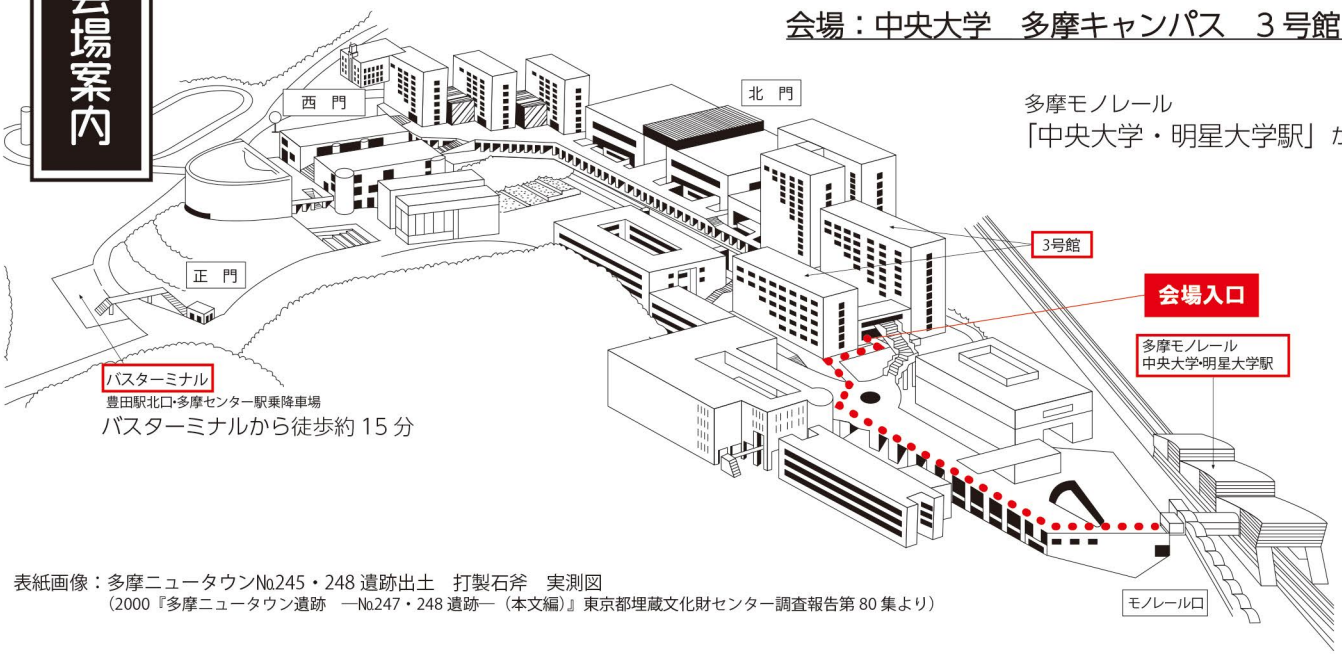
スケジュール

9:30		開　場
10:00	～ 10:10	**開会挨拶** 黒田 浩利（公益財団法人 東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター 所長）
10:10	～ 11:00	**趣旨説明・基調報告1「接合から探る 縄文時代のムラと粘土採掘場」** 合田 恵美子（公益財団法人 東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター）
11:00	～ 11:45	**基調報告2「接合から探る 旧石器時代人の行動」** 栗原 伸好（公益財団法人 かながわ考古学財団）
11:45	～ 13:00	休　憩
13:00	～ 13:45	**基調報告3「接合から探る 古墳時代の祭祀」** 渡邊 理伊知（公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
13:45	～ 14:30	**基調報告4「接合から探る 近世大名屋敷の廃棄行為」** 中島 一成（公益財団法人 東京都教育支援機構 東京都埋蔵文化財センター）
14:30	～ 14:50	休　憩
14:50	～ 15:50	記念講演 **「土器の接合から縄文社会を読み解く」** 小林 謙一（中央大学 文学部 教授）
15:50	～ 16:10	休　憩
16:10	～ 16:55	**質疑応答・討論**
16:55	～ 17:00	**閉会挨拶** 原 信男（公益財団法人 東京都教育支援機 東京都埋蔵文化財センター 調査研究部長）
17:00		閉　会

会場案内

会場：中央大学　多摩キャンパス　3 号館 3115 教室

多摩モノレール
「中央大学・明星大学駅」から徒歩約 5 分



バスターミナルから徒歩約 15 分

表紙画像：多摩ニュータウンNo.245・248 遺跡出土　打製石斧　実測図
（2000『多摩ニュータウン遺跡　―No.247・248 遺跡―（本文編）』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 80 集より）